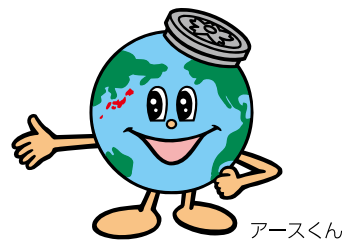




地域で育む水環境 東尾久浄化センター

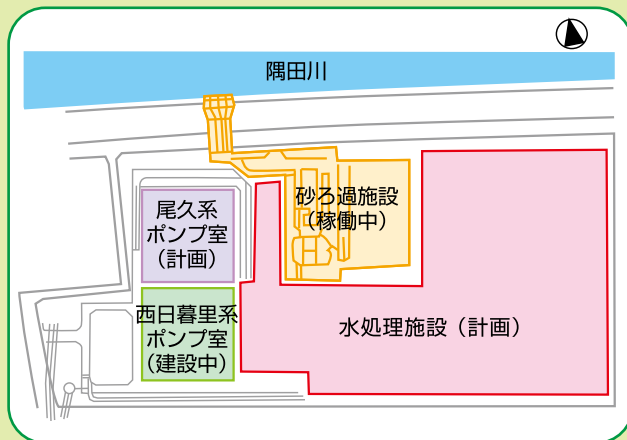


東尾久浄化センターは、三河島水再生センターで高級処理した水を更に高度処理し、隅田川へ放流する施設です。

三河島水再生センターから自然流下で送られた水は、微生物膜を形成したろ材を有する砂ろ過施設（生物膜ろ過法）を通過することで、有機物などの溶解性物質や浮遊物質（SS）などが除去されます。

東尾久浄化センターで処理された高度処理水の一部は、三河島水再生センターへ戻され、機械の冷却水やトイレ用水などとして利用されています。

施設は可能な限り地下に構築し、地上構造物は隣接する都立公園、スーパー堤防との調和を配慮したデザインにしています。



- 運転開始 平成11年4月
- 敷地面積 74,000㎡
- 現有施設能力（砂ろ過施設） 200,000m³/日

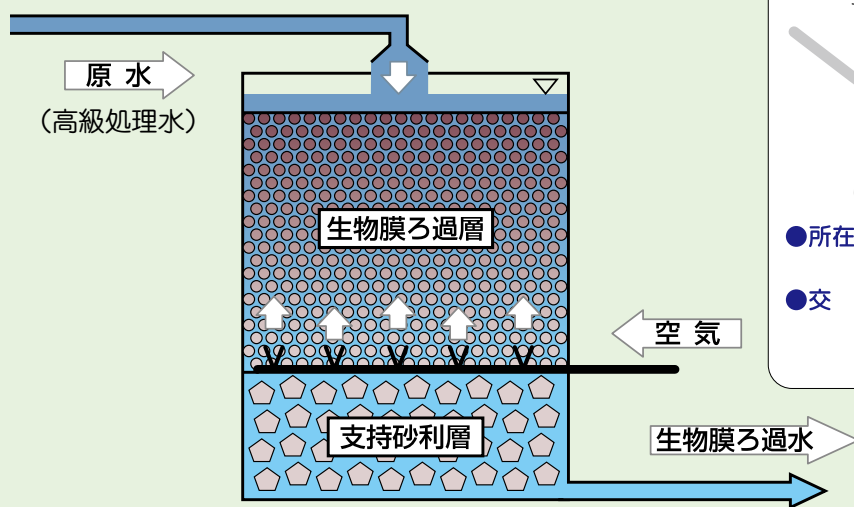
- 主要施設
 流入管 内径 1,650mm
 三河島水再生センターからの延長 2,742m
 着水井・流入ゲート(受水流量計)
 砂ろ過施設(生物膜ろ過式) 16池
 放流ポンプ棟

● 流入・処理水質（砂ろ過施設）

項目	単位:mg/L	
	流入水	処理水
BOD	3	1
SS	4	0.3

■ 生物膜ろ過法

生物膜ろ過による処理方式は、ろ材としてアンスラサイト（無煙炭）を使用し、ろ床下部より空気を通気することにより、ろ床を好気状態に保ち、ろ材表面に好気性微生物の膜を形成させています。この生物膜の生物化学的処理により、原水（高級処理水）中の有機物などの溶解性物質を分解します。さらに、物理的なろ過機能による浮遊物質（SS）の除去作用が加わり、より高度な処理水を生成します。



■ 遠方制御

浄化センター施設の運転管理については、三河島水再生センターまで光ファイバーケーブルを敷設しており、これを使用して情報を遠方監視制御するシステムとなっています。



臨海副都心の有明水再生センター内に下水道のしくみや役割、水の大切さを楽しみながら学べる体験型施設があります。

- 開館時間/9:30~16:30 ● 入館無料
- 交通/ゆりかもめ「お台場海浜公園駅」下車徒歩8分
りんかい線「東京テレポート」下車13分
- 休館日/月曜日（月曜日が休日の場合は開館し、その翌日休館）、年末年始
- 所在地/江東区有明2-3-5 有明水再生センター5F
- ☎ 03-5564-2458

下水道局との関係をおわす 悪質業者にご注意を！

下水道局では、宅地内排水設備の修理や清掃などを業者に依頼することはありません。

水再生センター見学受付窓口

土曜、日曜、祝祭日、年末年始を除いて、水再生センターの施設を見学することができます。ご予約・お問い合わせは見学受付窓口までお願いいたします。

下水道局ホームページ <http://www.gesui.metro.tokyo.jp/>

● 東京アメッシュ

港区と稲城市に降雨観測レーダーを設置し、降雨状況をリアルタイムに監視しています。

この降雨情報システム「東京アメッシュ」で気になる雨模様をチェックできます。



● バーチャル下水道

ふだん見えない下水道施設を、アニメーションやビデオ映像を使ってリアルに、おもしろく紹介しています。

